

# 教育事業別報告書

事業名	自然体験活動指導者養成事業全体指導者研修会
趣 旨	「小学校の1週間程度の自然体験活動」において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案の助言、活動時の全体指導や活動の様子の把握と助言、事業評価の助言などを行う指導者を養成する。
期 間	平成25年 2月9日(土)～11日(月)
募集人員 (募集結果)	青少年教育関係者、学校教育関係者、その他自然体験活動に興味・関心があり、小学校が実施する長期自然体験の全体指導者として支援する意志がある18歳以上の者 (参加者人数19人、大学生6人、社会人13人)
事業の特色	
<p>研修内容は、文部科学省の青少年の体験活動の推進「体験活動推進プロジェクト」委託要項に基づき実施した。「学校教育における体験活動の意義」「体験活動の指導法及び技術」「安全管理」「プログラムの企画立案演習」「救命救急法」と題し自然体験活動指導者に必要な知識やスキルなどを学んだ。特に「プログラムの企画立案演習」では、当所で行われているセカンドスクールのプログラムをたたき台として、その改善案をグループワークを通して、まとめていった。その過程で、プログラムと学校の教育課程との関連性を考慮しながら、それぞれのアクティビティがどの教科に対応するかを確認した。</p>	
	
<p>【グループでの雪洞づくり】      【グループでの検討場面】      【各グループごとの発表】</p>	
事業の成果と課題	
<p><b>事業の成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集定員20名のところ19名の参加者があった。また全員が全体指導者として登録され、研修の目的は達成できた。</li> <li>・参加者の年齢層は20歳から71歳と幅広く、異年齢間の交流が十分に図られた。お互いに積極的に交流を図る姿が見られたと同時に、参加者間の幅広いネットワークが構築できた。</li> <li>・各講義・演習・実習では、各分野の一流の講師の方々に来所いただいた。参加者も担当職員もあわせて、非常に有意義な研修となった。</li> <li>・プログラム作成等の演習では、当施設の教育事業である長期宿泊体験のプログラムをたたき台にし、改善プログラムの作成を演習したが、地元に着したより具体的な改善案が出され、今後の事業計画の中でも参考にできる内容であった。</li> </ul> <p><b>事業の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得者の活躍できる場の確保、及びシステムの確立が必要である。</li> </ul>	
その他	
<p>今後、講師または講師補助として活動するにあたり、子どもたちの様子や指導上の留意点などについて継続的に研修する必要がある。</p>	